

令和4年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	17-	1
---------	-----	---

事業名	社会教育諸経費	会計	款	項	目
		一般	10	5	1
政策	6 人生を豊かにするために	課名	社会教育課		
施策	6-2 青少年の健全育成	係名	生涯学習係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町内の青少年	目的 (対象がどのような状態になっているか)	青少年育成町民会議の活動を通じ、青少年の非行を防止し健全育成を図る。
事業内容	青少年の健全育成を図るため、町青少年育成町民会議を主体として、学校、家庭、地域などが一体となって取り組む体制を確立し、青少年のまちづくり活動等への参画促進や地域全体での育成支援を推進する。また、二十歳を迎えた記念として、社会の仲間入りを自覚する機会を提供するため、二十歳を迎えた当事者が実行委員会委員となって二十歳を祝う会を開催する。 ・青少年育成町民会議の主な活動 町内啓発活動、夜間パトロール、ありがとうの花を咲かせよう推進、町民歩け歩こう会、指導員会議、校区活動			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)
	1	体験学習活動平均参加率	8.9	28.8		%	
2							
3							
4							
5							
		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(予算)	
全体事業費(千円) A+B		5,479		5,826		11,816	
財源内訳	直接事業費 A	4,141		3,960		9,002	
	うち一般財源	4,141		3,960		9,002	
人件費(千円) B		1,338		1,866		2,814	
内訳	一般職員(人・千円)	0.2	1320	0.28	1848	0.38	2508
	臨時職員(人・千円)	0.01	18	0.01	18	0.17	306

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	C対象が広すぎる
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	各地域の推進指導員を中心に、従来の事業を検証し、効率的・効果的な組織形態と具体的な取り組みを協議検討する。	③取組の課題	育成会議では各委員の取組事業へのベクトル確認。また二十歳を祝う会では県外への進学等実行委員会の成りて不足。人権教育事業の実施方法
②R4年度に実施した取り組み	歩け歩こう会事業は継続し2回開催。また新たにありがとうの花を咲かせよう推進部会やわかもの未来WEB会議企画部会、サイバー犯罪抑止推進部会を立ち上げ、そのうちヴィアティン三重のホームゲームに合わせサイバー犯罪抑止啓発チラシの配布や東員ミュージカル及び稲部小学校等でありがとうの花を咲かせよう運動を実施。その他民法改正施行後初の「二十歳を祝う会」を開催。	④今後の改善計画	青少年の健全育成を図る青少年育成事業、二十歳を祝う会、人権教育事業について、それぞれの課題を整理し、状況に即した取り組みを検討する。